

# 【<sup>テン</sup> 枠材用】ミドルコーナー10 取扱説明書

※ご使用前に必ずお読みください。

## 用 途

■ 柱と土台、柱と横架材の接合に使用します。

## 特 長

- 柱・横架材に枠材(幅78mm以上、厚み27mm~45mmまで)を介して施工ができるため、パネル工法などの施工時に現場での枠材欠き込み作業などが軽減されます。
- 本体幅が45mmとコンパクトで耐力面材の真壁仕様でも納まりがよく、施工性が向上します。
- 枠材は縦勝ち横勝ちどちらでも施工が可能です。
- 床合板(30mmまで)の上から接合できますので、面倒な床合板の欠き込みが不要です。
- ホールダウン金物10kNを使用しなければならない柱頭・柱脚の接合に使用できます。
- 外周部に金物を出さずに接合できます。
- Z27クロムフリーを採用し、環境に配慮した製品です。

## 付 属 品

■ 専用ビス YPR-135(Mブルー)×8本

## 施工方法

本体の(柱)と刻印があるほうを柱側にして、付属ビスで接合します。



建設省告示第1460号第2号  
[へ]対応  
ハウスプラス確認検査(株)性能試験

## 【枠材用】ミドルコーナー10

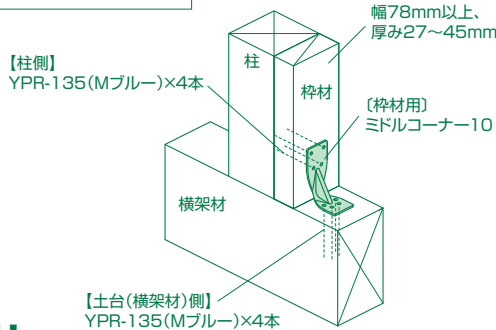
短期基準接合引張耐力(Pot)

(中柱) **10.8kN** (隅柱) **11.6kN**

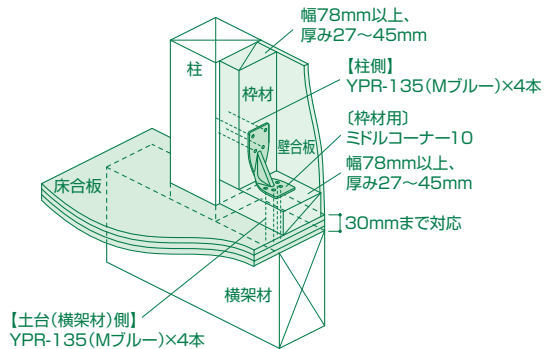
本製品はミドルコーナー15、ミドルコーナー15合板タイプと金物を共用していますが、接合ビスが異なりますのでご注意ください。

### 床合板・土台(横架材)側の枠材を介さない場合

柱側の枠材は必ず介してください。



### 床合板・枠材を介す場合



## 注意!!

- ① 135mmのビスで接合するため、柱・横架材ともビスの貫通にご注意ください。(ビスが貫通すると所定の耐力が確保できません。)
- ② 床合板や横架材側の枠材を介さない場合、ビスの貫通を避けるため、土台及び横架材を150mm以上にご使用ください。
- ③ 柱側の枠材を固定する釘は、下記の条件にてご使用ください。  
※枠材の厚みが30mm以下の場合 : N75またはN90で300ピッチ以下かつ9本以上  
※枠材の厚みが30mm超~45mmの場合 : N90で300ピッチ以下かつ9本以上

## 注意事項

- 枠材は幅78mm以上、厚み27mm~45mmとしてください。
- 床合板は厚み30mm以下としてください。
- 本製品の試験は合板仕様で実施しています。
- 1階柱脚部に使用する場合は、土台と基礎を適切に緊結してください。
- 必ず付属の専用ビスで接合してください。
- ビス接合用の四角ビット(#3)は別売品です。
- ケガに注意!!手袋を着用するなど金物の切断面に注意して作業をしてください。
- 釘およびビスを打ち込む際にも、車手や手袋などをはめ、さらに保護メガネを装着し、怪我のないようにしてください。
- 金物は所定の位置に取り付けてください。
- 金物の干渉に注意しご使用ください。
- 接合・締付け工具類は、適切なものをご使用ください。
- 現場で防錆・防蟻処理他、薬剤を使用する場合は、金物に薬剤が付着しないように注意してください。金物本体や表面処理が著しく劣化する場合があります。
- 放り投げたりハンマーで叩く等、乱暴に取扱うと破損や変形する恐れがあります。
- 目的用途以外には使用しないでください。

# BXカネシン株式会社

営業本部 / 〒124-0024 東京都葛飾区新小岩1-53-10 朝日生命新小岩ビル3階 Tel.03-3696-6781 Fax.03-3696-6770  
技術的など相談は / BXカネシンCSセンター Tel.03-5671-1077

K20230421A